

平成 16（2004）年度 調査研究報告

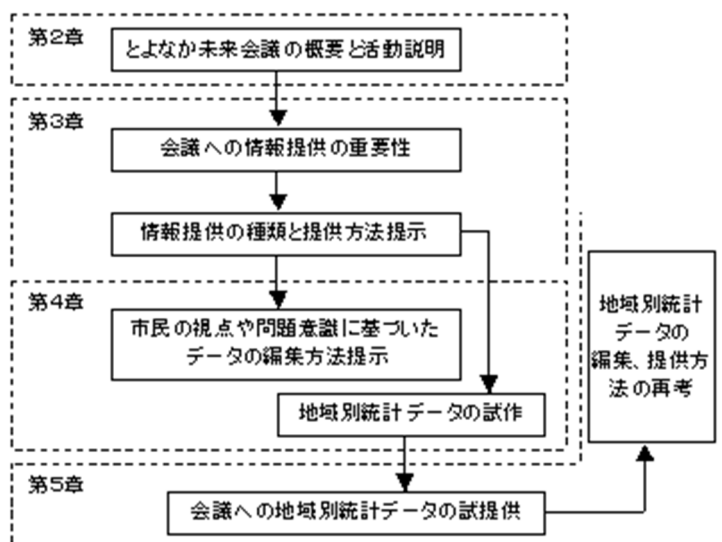
「地方自治体における協働型政策評価の可能性と課題 2」

―円卓会議への情報提供のあり方―

■研究の目的

豊中市では、「総合的行政評価システム」の中で、政策・施策評価を市民や行政、NPO など多様な主体の協働で行うべく、その仕組みづくりを進めている。その協働による政策・施策評価（協働型政策評価）を進める組織が「とよなか未来会議」である。本研究は、この「とよなか未来会議」を研究対象として、市民や行政職員、NPO の関係者など多様な主体が集まり対等な立場で議論を行う円卓会議に対する情報提供の重要性を示し、その提供する情報の内容や提供方法について提案を行うものである。

■研究の流れ



目次

第1章	序章	3
1.	研究の背景	3
2.	前年度（平成 15 年度）の研究概要	3
3.	今年度（平成 16 年度）の研究の目的と意義	4
4.	研究の流れと報告書の構成	4
5.	研究体制	4
第2章	とよなか未来会議の概要と活動経過	9
1.	とよなか未来会議の概要	9
1 - 1	とよなか未来会議とは	

1 - 2	とよなか未来会議の発足まで	
2.	とよなか未来会議の平成 16 年度の活動概要	12
2 - 1	メンバー構成	
2 - 2	組織体制	
2 - 3	活動内容	
2 - 4	平成 17 年度の活動計画	
3.	平成 16 年度の具体的な作業内容および作業結果	15
3 - 1	指標作成の模擬演習（ものさしづくりワークショップ）	
3 - 2	分科会のテーマ設定（テーマ設定ワークショップ）	
3 - 3	各分科会における指標の素作成過程	
第 3 章	会議への情報提供の重要性と種類	31
1.	とよなか未来会議の振り返り	31
1 - 1	とよなか未来会議の振り返り	
1 - 2	とよなか未来会議の今後の展開に向けた提案	
2.	情報提供の重要性	33
2 - 1	会議のメンバーからみた情報提供のニーズ	
2 - 2	情報提供の重要性に関する既往の研究	
3.	情報提供の目的と種類	37
3 - 1	動機付けのための情報提供	
3 - 2	活動、作業イメージの形成のための情報提供	
3 - 3	情報共有、共通理解のための情報提供	
第 4 章	情報提供に向けたデータの加工と編集	43
1.	市民の問題意識に合ったデータの加工と編集	43
1 - 1	市民の問題意識に合ったデータの整理	
1 - 2	メンバーの発言からみた市民の問題意識	
1 - 3	ワークショップの結果からみた市民の問題意識	
2.	市民の視点、問題意識に基づいたデータ集の事例	51
2 - 1	「まちカルテ」作成の目的と作成方法	
2 - 2	「まちカルテ」の構成	
2 - 3	「まちカルテ」の活用状況	
3.	地域別統計データの加工と編集	53
第 5 章	会議への情報提供の試行と今後の課題	57
1.	会議における地域別統計データの提供による発話	57
1 - 1	「豊中市町丁別高齢化率」の情報提供	
1 - 2	「豊中市における宗教施設の立地状況」の情報提供	
1 - 3	「近畿圏における市町村別ゴミの排出量」の情報提供	

1 - 4 「近畿圏における市町村別ゴミのリサイクル率」の情報提供	
2. 地域別統計データの編集、提供の再考	62
2 - 1 地域別統計データの編集方法再考	
2 - 2 地域別統計データの提供方法再考	
第6章 結論	67
1. まとめ	67
2. 最後に	67

参考資料

参考資料1. とよなか未来会議の夢物語（案）

参考資料2. テーマ設定ワークショップの結果をもとにした市民の生活感覚に基づくデータ例

（伊丹）